

PRIMERGY TX120 S2 未サポートOS動作検証確認情報

ソフトウェア名称	動作確認結果			
	SAS アレイコントローラカード MegaRAID SAS 9260-8i <PG-248H1/PG-248B4>	SAS アレイコントローラカード MegaRAID SAS 9240-8i <PG-248L1>	SAS コントローラカード LSI Logic LSISAS3041E-R <標準搭載>	オンボード SATA コントローラ (ソフトウェア RAID)
CentOS 5.6(x86)	○(注6)	○(注6)	○	—
CentOS 5.6(x86_64)	○(注6)	○(注6)	○	—
CentOS 5.5(x86)	○(注6)	○(注6)	○	—
CentOS 5.5(x86_64)	○(注6)	○(注6)	○	—
CentOS 5.4(X86)	○(注6)	○(注6)	○(注6)	—
CentOS 5.4(x86_64)	○(注6)	○(注6)	○(注6)	—
CentOS 5.3(x86)	○(注6)	○(注6)	○(注6)	○
CentOS 5.3(x86_64)	○(注6)	○(注6)	○(注6)	○
CentOS 5.2(x86)	○	○(注6)	○(注6)	○
CentOS 5.2(x86_64)	○	○(注6)	○(注6)	○
CentOS 4.8(x86)	○(注6)	○(注6)	○(注6)	—
CentOS 4.8(x86_64)	○(注6)	○(注6)	○(注6)	—
CentOS 4.7(x86)	○	○(注6)	○(注6)	○
CentOS 4.7(x86_64)	○	○(注6)	○(注6)	○

ソフトウェア名称	動作確認結果			
	SAS アレイコントローラカード MegaRAID SAS 9260-8i <PG-248H1/PG-248B4>	SAS アレイコントローラカード MegaRAID SAS 9240-8i <PG-248L1>	SAS コントローラカード LSI Logic LSISAS3041E-R <標準搭載>	オンボード SATA コントローラ (ソフトウェア RAID)
Fedora 10(x86)	○	—	—	○
Fedora 10(x86_64)	○	—	—	○
Ubuntu 10.04 LTS Server(x86)	—	—	○	—
Ubuntu 10.04 LTS Server(x86_64)	—	—	○	—
Ubuntu 8.04.2 LTS Server(x86)	—	—	—	○(注1)
Ubuntu 8.04 LTS Server(x86)	—	—	—	○(注1)
Debian GNU/Linux 5.0.1(x86)	—	—	—	○(注1)
Debian GNU/Linux 5.0.1(x86_64)	—	—	—	○(注1)
Debian GNU/Linux 4.0r4(x86)	○(注1)	—	—	—
Debian GNU/Linux 4.0r4(x86_64)	○(注1)	—	—	—
FreeBSD 7.1-RELEASE(x86)	○	—	—	—
FreeBSD 7.1-RELEASE(x86_64)	○	—	—	—
Oracle Enterprise Linux 5.5(x86_64)	—	—	○	—

凡例
○: インストール可 ×: インストール不可 -: 未確認 ※ServerView Agents は対象 OS でインストールのみ確認。
注釈
<ol style="list-style-type: none">1. LAN ドライバが必要。2. TEXT モードでインストール。3. SAS コントローラ対応ドライバ、LAN ドライバが必要。4. SAS コントローラ対応ドライバが必要。5. SATA コントローラ対応ドライバが必要。6. 論理的にインストール可。7. その他。

PRIMERGY TX120 S2 SASアレイコントローラカード CentOS 5.2(x86) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における 動作結果であり、お客様の ご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことにより お客様に損害が生じた 場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。 そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

ハード環境

PRIMERGY TX120 S2

- ・CPU : インテル Celeron プロセッサ 575 2GHz
- ・メモリ : 4GB
- ・NIC : オンボード 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- ・HDD : 73GB × 3
- ・外部記憶 : DVD ドライブ、 外付け USB-FD ドライブ

デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・LAN : Intel Corporation 82567LM-4 Gigabit Network Connection (rev 02) 【e1000e】
- ・VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 02)
- ・RAID : LSI Logic / Symbios Logic MegaRAID SAS 1078 (rev 04) 【megaraid_sas】

ディストリビューション

- ・CentOS 5.2 (x86)
2.6.18-92.el5PAE

インストール及び動作確認結果

PRIMERGY TX120 S2 CentOS 5.2 (x86) 2.6.18-92.el5PAE

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	別途必要 ※ 1
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK
7	マウスが使用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	OK
10	CD/DVD-ROM ドライブが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK

17	web サービス (httpd) が利用できるか	OK
18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送 (nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール [ServerViewRAID] のインストール	NG
22	ディスクアレイ管理ツール [GAM (Global Array Manager)] のインストール	OK ※2
23	サーバ管理ソフトウェア [ServerView] のインストール	OK ※3
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成 (rebuild) が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 インテルのサイトよりダウンロードした Linux 用「インテル 82567 ギガビット・イーサネット・コントローラー」ドライバを使用

※2 LSI サイトよりダウンロードした MegaRAID Storage Manager を使用

※3 ServerView Agent のみインストール。動作確認は ServerView Console をインストールした Windows PC より行った

■インストール手順

1. 「 boot: 」プロンプトが出たところで、Enter を押します。
2. 以降は通常のインストールを実行します。

PRIMERGY TX120 S2 SASアレイコントローラカード CentOS 5.2(x86_64) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における 動作結果であり、お客様の ご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことにより お客様に損害が生じた 場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。 そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

ハード環境

PRIMERGY TX120 S2

- ・CPU : インテル Celeron プロセッサ 575 2GHz
- ・メモリ : 4GB
- ・NIC : オンボード 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- ・HDD : 73GB × 3
- ・外部記憶 : DVD ドライブ、 外付け USB-FD ドライブ

デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・LAN : Intel Corporation 82567LM-4 Gigabit Network Connection (rev 02) 【e1000e】
- ・VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 02)
- ・RAID : LSI Logic / Symbios Logic MegaRAID SAS 1078 (rev 04) 【megaraid_sas】

ディストリビューション

- ・CentOS 5.2 (x86_64)
2.6.18-92.el5

インストール及び動作確認結果

PRIMERGY TX120 S2 CentOS 5.2 (x86_64) 2.6.18-92.el5

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	別途必要 ※1
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK
7	マウスが使用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	OK
10	CD/DVD-ROM ドライブが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK

18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerViewRAID] のインストール	NG
22	ディスクアレイ管理ツール[GAM (Global Array Manager)] のインストール	OK ※2
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView] のインストール	OK ※3
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 インテルのサイトよりダウンロードした Linux 用「インテル 82567 ギガビット・イーサネット・コントローラー」ドライバを使用

※2 LSI サイトよりダウンロードした MegaRAID Storage Manager を使用

※3 ServerView Agent のみインストール。動作確認は ServerView Console をインストールした Windows PC より行った

■インストール手順

1. 「 boot: 」プロンプトが出たところで、Enter を押します。
2. 以降は通常のインストールを実行します。

PRIMERGY TX120 S2 SASアレイコントローラカード CentOS 4.7(x86) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における 動作結果であり、お客様の ご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことにより お客様に損害が生じた 場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。 そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

ハード環境

PRIMERGY TX120 S2

- ・CPU : インテル Celeron プロセッサ 575 2GHz
- ・メモリ : 4GB
- ・NIC : オンボード 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- ・HDD : 73GB × 3
- ・外部記憶 : DVD ドライブ、 外付け USB-FD ドライブ

デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・LAN : Intel Corporation 82567LM-4 Gigabit Network Connection (rev 02) 【e1000e】
- ・VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 02)
- ・RAID : LSI Logic / Symbios Logic MegaRAID SAS 1078 (rev 04) 【megaraid_sas】

ディストリビューション

- ・CentOS 4.7 (x86)
2.6.9-78.EL

インストール及び動作確認結果

PRIMERGY TX120 S2 CentOS 4.7 (x86) 2.6.9-78.EL

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	別途必要 ※1
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK
7	マウスが使用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	OK
10	CD/DVD-ROM ドライブが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK

18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerViewRAID] のインストール	NG
22	ディスクアレイ管理ツール[GAM (Global Array Manager)] のインストール	OK ※2
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView] のインストール	OK ※3
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 インテルのサイトよりダウンロードした Linux 用「インテル 82567 ギガビット・イーサネット・コントローラー」ドライバを使用

※2 LSI サイトよりダウンロードした MegaRAID Storage Manager を使用

※3 ServerView Agent のみインストール。動作確認は ServerView Console をインストールした Windows PC より行った

■インストール手順

1. 「boot:」プロンプトが出たところで、Enter を押します。
2. 以降は通常のインストールを実行します。

PRIMERGY TX120 S2 SASアレイコントローラカード CentOS 4.7(x86_64) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における 動作結果であり、お客様の ご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことにより お客様に損害が生じた 場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。 そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

ハード環境

PRIMERGY TX120 S2

- ・CPU : インテル Celeron プロセッサ 575 2GHz
- ・メモリ : 4GB
- ・NIC : オンボード 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- ・HDD : 73GB × 3
- ・外部記憶 : DVD ドライブ、 外付け USB-FD ドライブ

デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・LAN : Intel Corporation 82567LM-4 Gigabit Network Connection (rev 02) 【e1000e】
- ・VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 02)
- ・RAID : LSI Logic / Symbios Logic MegaRAID SAS 1078 (rev 04) 【megaraid_sas】

ディストリビューション

- ・CentOS 4.7 (x86_64)
2.6.9-78.EL

インストール及び動作確認結果

PRIMERGY TX120 S2 CentOS 4.7 (x86_64) 2.6.9-78.EL

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	別途必要 ※1
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK
7	マウスが使用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	OK
10	CD/DVD-ROM ドライブが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK

17	web サービス (httpd) が利用できるか	OK
18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送 (nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール [ServerViewRAID] のインストール	NG
22	ディスクアレイ管理ツール [GAM (Global Array Manager)] のインストール	OK ※2
23	サーバ管理ソフトウェア [ServerView] のインストール	OK ※3
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成 (rebuild) が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 インテルのサイトよりダウンロードした Linux 用「インテル 82567 ギガビット・イーサネット・コントローラー」ドライバを使用

※2 LSI サイトよりダウンロードした MegaRAID Storage Manager を使用

※3 ServerView Agent のみインストール。動作確認は ServerView Console をインストールした Windows PC より行った

■インストール手順

1. 「 boot: 」プロンプトが出たところで、Enter を押します。
2. 以降は通常のインストールを実行します。

PRIMERGY TX120 S2 SASアレイドコントローラカード Fedora 10(x86) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における 動作結果であり、お客様の ご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことにより お客様に損害が生じた 場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。 そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

ハード環境

PRIMERGY TX120 S2

- CPU : インテル Celeron プロセッサ 575 2GHz
- メモリ : 4GB
- NIC : オンボード 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- HDD : 73GB × 3
- 外部記憶 : DVD ドライブ、 外付け USB-FD ドライブ

デバイスドライバ【ドライバ名】

- LAN : Intel Corporation 82567LM-4 Gigabit Network Connection (rev 02) 【e1000e】
- VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 02)
- RAID : LSI Logic / Symbios Logic MegaRAID SAS 1078 (rev 04) 【megaraid_sas】

ディストリビューション

- Fedora 10 (x86)
2.6.27.5-117.fc10.i686.PAE

インストール及び動作確認結果

PRIMERGY TX120 S2 Fedora 10(x86) 2.6.27.5-117.fc10.i686.PAE

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が利用できるか	OK
6	キーボードが利用できるか	OK
7	マウスが利用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	NG ※1
9	フロッピードライブが利用できるか	OK
10	CD/DVD-ROM ドライブが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK ※2
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK ※3
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK

18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerViewRAID] のインストール	—
22	ディスクアレイ管理ツール[GAM (Global Array Manager)] のインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView] のインストール	—
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 デフォルト設定では root ユーザでの GUI ログインは不可(CUI ログインは可能)

※2 デフォルト設定では network サービスが自動起動していないためネットワークが停止している。network サービスの起動設定を行い、類似機能の NetworkManager サービスを停止した

※3 GUI ツールの不具合でネットマスクの値が反映されない。tui ツールを使用するか、設定ファイルを直接編集する

■インストール手順

1. 「boot:」プロンプトが出たところで、Enter を押します。
2. 以降は通常のインストールを実行します。

PRIMERGY TX120 S2 SASアレイコントローラカード Fedora 10(x86_64) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における 動作結果であり、お客様の ご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことにより お客様に損害が生じた 場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。 そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

ハード環境

PRIMERGY TX120 S2

- ・CPU : インテル Celeron プロセッサ 575 2GHz
- ・メモリ : 4GB
- ・NIC : オンボード 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- ・HDD : 73GB × 3
- ・外部記憶 : DVD ドライブ、 外付け USB-FD ドライブ

デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・LAN : Intel Corporation 82567LM-4 Gigabit Network Connection (rev 02) 【e1000e】
- ・VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 02)
- ・RAID : LSI Logic / Symbios Logic MegaRAID SAS 1078 (rev 04) 【megaraid_sas】

ディストリビューション

- ・Fedora 10 (x86_64)
2.6.27.5-117.fc10.x86_64

インストール及び動作確認結果

PRIMERGY TX120 S2 Fedora 10(x86_64) 2.6.27.5-117.fc10.x86_64

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK
7	マウスが使用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	NG ※1
9	フロッピードライブが利用できるか	OK
10	CD/DVD-ROM ドライブが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK ※2
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK ※3

17	web サービス (httpd) が利用できるか	OK
18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送 (nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール [ServerViewRAID] のインストール	—
22	ディスクアレイ管理ツール [GAM (Global Array Manager)] のインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア [ServerView] のインストール	—
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成 (rebuild) が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 デフォルト設定では root ユーザでの GUI ログインは不可 (CUI ログインは可能)

※2 デフォルト設定では network サービスが自動起動していないためネットワークが停止している。network サービスの起動設定を行い、類似機能の NetworkManager サービスを停止した

※3 GUI ツールの不具合でネットマスクの値が反映されない。tui ツールを使用するか、設定ファイルを直接編集する

■インストール手順

1. 「 boot: 」プロンプトが出たところで、Enter を押します。
2. 以降は通常のインストールを実行します。

PRIMERGY TX120 S2 SASアレイコントローラカード Debian GNU/Linux 4.0r4(x86) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における 動作結果であり、お客様の ご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことにより お客様に損害が生じた 場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。 そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

ハード環境

PRIMERGY TX120 S2

- ・CPU : インテル Celeron プロセッサ 575 2GHz
- ・メモリ : 4GB
- ・NIC : オンボード 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- ・HDD : 73GB × 3
- ・外部記憶 : DVD ドライブ、 外付け USB-FD ドライブ

デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・LAN : Intel Corporation 82567LM-4 Gigabit Network Connection (rev 02) 【e1000e】
- ・VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 02)
- ・RAID : LSI Logic / Symbios Logic MegaRAID SAS 1078 (rev 04) 【megasas】

ディストリビューション

- ・Debian GNU/Linux 4.0r4 (x86)
2.6.18-6-686

インストール及び動作確認結果

PRIMERGY TX120 S2 Debian GNU/Linux 4.0r4 (x86) 2.6.18-6-686

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	別途必要 ※1
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が利用できるか	OK
6	キーボードが利用できるか	OK
7	マウスが利用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	OK
10	CD/DVD-ROM ドライブが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK

18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerViewRAID] のインストール	—
22	ディスクアレイ管理ツール[GAM (Global Array Manager)] のインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView] のインストール	—
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 インテルのサイトよりダウンロードした Linux 用「インテル 82567 ギガビット・イーサネット・コントローラー」ドライバを使用

■インストール手順

1. 「 boot: 」プロンプトが出たところで、Enter を押します。
2. 以降は通常のインストールを実行します。

PRIMERGY TX120 S2 SASアレイコントローラカード Debian GNU/Linux 4.0r4(x86_64) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における 動作結果であり、お客様の ご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことにより お客様に損害が生じた 場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。 そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

ハード環境

PRIMERGY TX120 S2

- ・CPU : インテル Celeron プロセッサ 575 2GHz
- ・メモリ : 4GB
- ・NIC : オンボード 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- ・HDD : 73GB × 3
- ・外部記憶 : DVD ドライブ、 外付け USB-FD ドライブ

デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・LAN : Intel Corporation 82567LM-4 Gigabit Network Connection (rev 02) 【e1000e】
- ・VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 02)
- ・RAID : LSI Logic / Symbios Logic MegaRAID SAS 1078 (rev 04) 【megasas】

ディストリビューション

- ・Debian GNU/Linux 4.0r4 (x86_64)
2.6.18-6-amd64

インストール及び動作確認結果

PRIMERGY TX120 S2 Debian GNU/Linux 4.0r4 (x86_64) 2.6.18-6-amd64

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	別途必要 ※1
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK
7	マウスが使用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	OK
10	CD/DVD-ROM ドライブが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK

17	web サービス (httpd) が利用できるか	OK
18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送 (nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール [ServerViewRAID] のインストール	—
22	ディスクアレイ管理ツール [GAM (Global Array Manager)] のインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア [ServerView] のインストール	—
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成 (rebuild) が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 インテルのサイトよりダウンロードした Linux 用「インテル 82567 ギガビット・イーサネット・コントローラー」ドライバを使用

■インストール手順

1. 「 boot: 」プロンプトが出たところで、Enter を押します。
2. 以降は通常のインストールを実行します。

PRIMERGY TX120 S2 SASアレイコントローラカード FreeBSD 7.1-RELEASE(x86) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における 動作結果であり、お客様の ご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことにより お客様に損害が生じた 場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。 そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

ハード環境

PRIMERGY TX120 S2

- ・CPU : インテル Celeron プロセッサ 575 2GHz
- ・メモリ : 4GB
- ・NIC : オンボード 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- ・HDD : 73GB × 3
- ・外部記憶 : DVD ドライブ、 外付け USB-FD ドライブ

デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・LAN : Intel Corporation 82567LM-4 Gigabit Network Connection (rev 02) 【em】
- ・VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 02)
- ・RAID : LSI Logic / Symbios Logic MegaRAID SAS 1078 (rev 04) 【mfi】

ディストリビューション

- ・FreeBSD 7.1-RELEASE (x86)
7.1-RELEASE

インストール及び動作確認結果

PRIMERGY TX120 S2 FreeBSD 7.1-RELEASE (x86) 7.1-RELEASE

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	—
6	キーボードが使用できるか	OK
7	マウスが使用できるか	—
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	OK
10	CD/DVD-ROM ドライブが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK

16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK
18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerViewRAID] のインストール	—
22	ディスクアレイ管理ツール[GAM (Global Array Manager)] のインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView] のインストール	—
24	片側のHDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態でHDD を抜き、起動する	—
25	片側のHDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側のHDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側のHDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側のHDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

■インストール手順

1. 「 Select option, [Enter] for default 」と表示されたら、Enter キーを押します。
2. 以降は通常のインストールを実行します。

PRIMERGY TX120 S2 SASアレイコントローラカード FreeBSD 7.1-RELEASE(x86_64) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における 動作結果であり、お客様の ご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことにより お客様に損害が生じた 場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。 そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

ハード環境

PRIMERGY TX120 S2

- ・CPU : インテル Celeron プロセッサ 575 2GHz
- ・メモリ : 4GB
- ・NIC : オンボード 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- ・HDD : 73GB × 3
- ・外部記憶 : DVD ドライブ、 外付け USB-FD ドライブ

デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・LAN : Intel Corporation 82567LM-4 Gigabit Network Connection (rev 02) 【em】
- ・VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 02)
- ・RAID : LSI Logic / Symbios Logic MegaRAID SAS 1078 (rev 04) 【mfi】

ディストリビューション

- ・FreeBSD 7.1-RELEASE (x86_64)
7.1-RELEASE

インストール及び動作確認結果

PRIMERGY TX120 S2 FreeBSD 7.1-RELEASE (x86_64) 7.1-RELEASE

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	—
6	キーボードが使用できるか	OK
7	マウスが使用できるか	—
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	OK
10	CD/DVD-ROM ドライブが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK

16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK
18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerViewRAID] のインストール	—
22	ディスクアレイ管理ツール[GAM (Global Array Manager)] のインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView] のインストール	—
24	片側のHDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態でHDD を抜き、起動する	—
25	片側のHDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側のHDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側のHDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側のHDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

■インストール手順

1. 「 Select option, [Enter] for default 」と表示されたら、Enter キーを押します。
2. 以降は通常のインストールを実行します。

PRIMERGY TX120 S2 標準搭載SASコントローラカード CentOS 5.6 (x86) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における 動作結果であり、お客様の ご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことにより お客様に損害が生じた 場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。 そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

ハード環境

PRIMERGY TX120 S2

- ・CPU : Intel Celeron プロセッサ-575 2GHz
- ・メモリ : 4GB
- ・NIC : 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- ・HDD : 73.4GB × 2
- ・外部記憶 : 内蔵 DVD ドライブ

デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・LAN : Intel Corporation82567LM-4 Gigabit Network Connection (rev 02) 【e1000e】
- ・VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 02)
- ・RAID : LSI Logic / Symbios Logic SAS1064ET PCI-Express Fusion-MPT SAS (rev 08) 【mptsas】

ディストリビューション

- ・CentOS 5.6 (x86)
2.6.18-238.el5PAE

インストール及び動作確認結果

PRIMERGY TX120 S2 CentOS 5.6 (x86) 2.6.18-238.e15PAE

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が利用できるか	OK
6	キーボードが利用できるか	OK
7	マウスが利用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	—
10	CD/DVD-ROM ドライブが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK

18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerViewRAID 5.03-04] のインストール	OK
22	コントローラメーカー製ディスクアレイ管理ツールのインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView agents 5.10-22] のインストール	OK
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

■インストール手順

1. 「boot:」プロンプトが出たところで、Enter を押します。
2. 以降は通常の Linux インストールガイドに従いインストールを実行します。

PRIMERGY TX120 S2 標準搭載SASコントローラカード CentOS 5.6 (x86_64) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における 動作結果であり、お客様の ご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことにより お客様に損害が生じた 場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。 そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

ハード環境

PRIMERGY TX120 S2

- ・CPU : Intel Celeron プロセッサ-575 2GHz
- ・メモリ : 4GB
- ・NIC : 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- ・HDD : 73.4GB × 2
- ・外部記憶 : 内蔵 DVD ドライブ

デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・LAN : Intel Corporation82567LM-4 Gigabit Network Connection (rev 02) 【e1000e】
- ・VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 02)
- ・RAID : LSI Logic / Symbios Logic SAS1064ET PCI-Express Fusion-MPT SAS (rev 08) 【mptsas】

ディストリビューション

- ・CentOS 5.6 (x86_64)
2.6.18-238.el5

インストール及び動作確認結果

PRIMERGY TX120 S2 CentOS 5.6 (x86_64) 2.6.18-238.el5

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が利用できるか	OK
6	キーボードが利用できるか	OK
7	マウスが利用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	—
10	CD/DVD-ROM ドライブが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK

18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerViewRAID 5.03-04] のインストール	OK
22	コントローラメーカー製ディスクアレイ管理ツールのインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView agents 5.10-22] のインストール	OK
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

■インストール手順

1. 「boot:」プロンプトが出たところで、Enter を押します。
2. 以降は通常の Linux インストールガイドに従いインストールを実行します。

PRIMERGY TX120 S2 標準搭載SASコントローラカード CentOS 5.5 (x86) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における 動作結果であり、お客様の ご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことにより お客様に損害が生じた 場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。 そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

ハード環境

PRIMERGY TX120 S2

- ・CPU : Intel Celeron プロセッサ-575 2GHz
- ・メモリ : 4GB
- ・NIC : 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- ・HDD : 73.4GB × 2
- ・外部記憶 : 外付け USB-DVD ドライブ

デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・LAN : Intel Corporation82567LM-4 Gigabit Network Connection (rev 02) 【e1000e】
- ・VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 02)
- ・RAID : LSI Logic / Symbios Logic SAS1064ET PCI-Express Fusion-MPT SAS (rev 08) 【mptsas】

ディストリビューション

- ・CentOS 5.5 (x86)
2.6.18-194.el5PAE

インストール及び動作確認結果

PRIMERGY TX120 S2 CentOS 5.5 (x86) 2.6.18-194.el5PAE

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が利用できるか	OK
6	キーボードが利用できるか	OK
7	マウスが利用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	—
10	CD/DVD-ROM ドライブが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK

18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerViewRAID] のインストール	OK
22	ディスクアレイ管理ツール[GAM (Global Array Manager)] のインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView] のインストール	OK ※1
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 ServerView Agent のみインストール。動作確認は ServerView Operations Manager をインストールした Windows PC より行った

■インストール手順

3. 「boot:」プロンプトが出たところで、Enter を押します。
4. 以降は通常の Linux インストールガイドに従いインストールを実行します。

PRIMERGY TX120 S2 標準搭載SASコントローラカード CentOS 5.5 (x86_64) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における 動作結果であり、お客様の ご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことにより お客様に損害が生じた 場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。 そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

ハード環境

PRIMERGY TX120 S2

- ・CPU : Intel Celeron プロセッサ-575 2GHz
- ・メモリ : 4GB
- ・NIC : 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- ・HDD : 73.4GB × 2
- ・外部記憶 : 外付け USB-DVD ドライブ

デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・LAN : Intel Corporation82567LM-4 Gigabit Network Connection (rev 02) 【e1000e】
- ・VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 02)
- ・RAID : LSI Logic / Symbios Logic SAS1064ET PCI-Express Fusion-MPT SAS (rev 08) 【mptsas】

ディストリビューション

- ・CentOS 5.5 (x86_64)
2.6.18-194.el5

インストール及び動作確認結果

PRIMERGY TX120 S2 CentOS 5.5 (x86_64) 2.6.18-194.el5

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が利用できるか	OK
6	キーボードが利用できるか	OK
7	マウスが利用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	—
10	CD/DVD-ROM ドライブが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK

18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerViewRAID] のインストール	OK
22	ディスクアレイ管理ツール[GAM (Global Array Manager)] のインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView] のインストール	OK ※1
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 ServerView Agent のみインストール。動作確認は ServerView Operations Manager をインストールした Windows PC より行った

■インストール手順

1. 「boot:」プロンプトが出たところで、Enter を押します。
2. 以降は通常の Linux インストールガイドに従いインストールを実行します。

PRIMERGY TX120 S2 標準搭載SASコントローラカード ubuntu 10.04 LTS Server (x86) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における 動作結果であり、お客様の ご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことにより お客様に損害が生じた 場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。 そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

ハード環境

PRIMERGY TX120 S2

- ・CPU : Intel Celeron プロセッサ-575 2GHz
- ・メモリ : 4GB
- ・NIC : 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- ・HDD : 73.4GB × 2
- ・外部記憶 : 外付け USB-DVD ドライブ

デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・LAN : Intel Corporation82567LM-4 Gigabit Network Connection (rev 02) 【e1000e】
- ・VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 02)
- ・SAS : LSI Logic / Symbios Logic SAS1064ET PCI-Express Fusion-MPT SAS (rev 08) 【mptsas】

ディストリビューション

- ・ubuntu 10.04 LTS Server (x86)
2.6.32-21-generic-pae

インストール及び動作確認結果

PRIMERGY TX120 S2 ubuntu 10.04 LTS Server (x86) 2.6.32-21-generic-pae

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が利用できるか	—
6	キーボードが利用できるか	OK
7	マウスが利用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK ※1
9	フロッピードライブが利用できるか	—
10	CD/DVD-ROM ドライブが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	—
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK

18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerViewRAID] のインストール	—
22	ディスクアレイ管理ツール[GAM (Global Array Manager)] のインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView] のインストール	—
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 デフォルト状態では root ログインはできない(root のパスワードを設定すれば可能)

■インストール手順

1. CD ブート後、Langugage から「日本語」を選択し、Enter を押します。
2. 「Install Ubuntu Server」を選択し、Enter を押します。
3. 以降は、通常のインストールを実行します。

PRIMERGY TX120 S2 標準搭載SASコントローラカード ubuntu 10.04 LTS Server (x86_64) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における 動作結果であり、お客様の ご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことにより お客様に損害が生じた 場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。 そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

ハード環境

PRIMERGY TX120 S2

- ・CPU : Intel Celeron プロセッサ-575 2GHz
- ・メモリ : 4GB
- ・NIC : 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- ・HDD : 73.4GB × 2
- ・外部記憶 : 外付け USB-DVD ドライブ

デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・LAN : Intel Corporation82567LM-4 Gigabit Network Connection (rev 02) 【e1000e】
- ・VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 02)
- ・SAS : LSI Logic / Symbios Logic SAS1064ET PCI-Express Fusion-MPT SAS (rev 08) 【mptsas】

ディストリビューション

- ・ubuntu 10.04 LTS Server (x86_64)
2.6.32-21-server

インストール及び動作確認結果

PRIMERGY TX120 S2 ubuntu 10.04 LTS Server (x86_64) 2.6.32-21-server

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	—
6	キーボードが使用できるか	OK
7	マウスが使用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK ※1
9	フロッピードライブが利用できるか	—
10	CD/DVD-ROM ドライブが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	—
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK

18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerViewRAID] のインストール	—
22	ディスクアレイ管理ツール[GAM (Global Array Manager)] のインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView] のインストール	—
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 デフォルト状態では root ログインはできない(root のパスワードを設定すれば可能)

■インストール手順

1. CD ブート後、Language から「日本語」を選択し、Enter を押します。
2. 「Install Ubuntu Server」を選択し、Enter を押します。
3. 以降は、通常のインストールを実行します。

PRIMERGY TX120 S2 標準搭載SASコントローラカード Oracle Enterprise Linux 5.5 (x86_64) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における 動作結果であり、お客様の ご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことにより お客様に損害が生じた 場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。 そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

ハード環境

PRIMERGY TX120 S2

- ・CPU : Intel Celeron プロセッサ-575 2GHz
- ・メモリ : 4GB
- ・NIC : 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- ・HDD : 73.4GB × 2
- ・外部記憶 : 外付け USB-DVD ドライブ

デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・LAN : Intel Corporation82567LM-4 Gigabit Network Connection (rev 02) 【e1000e】
- ・VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 02)
- ・SAS : LSI Logic / Symbios Logic SAS1064ET PCI-Express Fusion-MPT SAS (rev 08) 【mptsas】

ディストリビューション

- ・Oracle Enterprise Linux 5.5 (x86_64)
2.6.18-194.el5

インストール及び動作確認結果

PRIMERGY TX120 S2 Oracle Enterprise Linux 5.5 (x86_64) 2.6.18-194.el5

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が利用できるか	OK
6	キーボードが利用できるか	OK
7	マウスが利用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	—
10	CD/DVD-ROM ドライブが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK

18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerViewRAID] のインストール	OK
22	ディスクアレイ管理ツール[GAM (Global Array Manager)] のインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView] のインストール	OK ※1
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 ServerView Agent のみインストール。動作確認は ServerView Operations Manager をインストールした Windows PC より行った

■インストール手順

1. 「boot:」プロンプトが出たところで、Enter を押します。
2. 以降は通常の Linux インストールガイドに従いインストールを実行します。

PRIMERGY TX120 S2 Non-RAID CentOS 5.3(x86) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における 動作結果であり、お客様の ご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことにより お客様に損害が生じた 場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。 そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

ハード環境

PRIMERGY TX120 S2

- ・CPU : デュアルコア インテル Core 2 Duo プロセッサー T9400 2.53GHz
- ・メモリ : 4GB
- ・NIC : 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- ・HDD : 73.4GB × 1
- ・外部記憶 : DVD ドライブ、 外付け USB-FD ドライブ

デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・LAN : Intel Corporation 82567LM-4 Gigabit Network Connection (rev 02) 【e1000e】
- ・VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 02)
- ・SAS : LSI Logic / Symbios Logic SAS1064ET PCI-Express Fusion-MPT SAS (rev 08) 【mptsas】

ディストリビューション

- ・CentOS 5.3 (x86)
2.6.18-128.el5PAE

インストール及び動作確認結果

PRIMERGY TX120 S2 CentOS 5.3 (x86) 2.6.18-128.el5PAE

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK
7	マウスが使用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	OK
10	CD/DVD-ROM ドライブが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK

17	web サービス (httpd) が利用できるか	OK
18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送 (nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール [ServerViewRAID] のインストール	—
22	ディスクアレイ管理ツール [GAM (Global Array Manager)] のインストール	OK ※1
23	サーバ管理ソフトウェア [ServerView] のインストール	OK ※2
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成 (rebuild) が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 LSI サイトよりダウンロードした MegaRAID Storage Manager を使用

※2 ServerView Agent のみインストール。動作確認は ServerView Console をインストールした Windows PC より行った

■インストール手順

1. 「 boot: 」プロンプトが出たところで、Enter を押します。
2. 以降は通常のインストールを実行します。

PRIMERGY TX120 S2 Non-RAID CentOS 5.3(x86_64) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における 動作結果であり、お客様の ご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことにより お客様に損害が生じた 場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。 そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

ハード環境

PRIMERGY TX120 S2

- ・CPU : デュアルコア インテル Core 2 Duo プロセッサー T9400 2.53GHz
- ・メモリ : 4GB
- ・NIC : 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- ・HDD : 73.4GB × 1
- ・外部記憶 : DVD ドライブ、 外付け USB-FD ドライブ

デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・LAN : Intel Corporation 82567LM-4 Gigabit Network Connection (rev 02) 【e1000e】
- ・VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 02)
- ・SAS : LSI Logic / Symbios Logic SAS1064ET PCI-Express Fusion-MPT SAS (rev 08) 【mptsas】

ディストリビューション

- ・CentOS 5.3 (x86_64)
2.6.18-128.el5

インストール及び動作確認結果

PRIMERGY TX120 S2 CentOS 5.3 (x86_64) 2.6.18-128.el5

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK
7	マウスが使用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	OK
10	CD/DVD-ROM ドライブが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK

17	web サービス (httpd) が利用できるか	OK
18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送 (nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール [ServerViewRAID] のインストール	—
22	ディスクアレイ管理ツール [GAM (Global Array Manager)] のインストール	OK ※1
23	サーバ管理ソフトウェア [ServerView] のインストール	OK ※2
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成 (rebuild) が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 LSI サイトよりダウンロードした MegaRAID Storage Manager を使用

※2 ServerView Agent のみインストール。動作確認は ServerView Console をインストールした Windows PC より行った

■インストール手順

1. 「 boot: 」プロンプトが出たところで、Enter を押します。
2. 以降は通常のインストールを実行します。

PRIMERGY TX120 S2 Non-RAID CentOS 5.2(x86) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における 動作結果であり、お客様の ご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことにより お客様に損害が生じた 場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。 そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

ハード環境

PRIMERGY TX120 S2

- ・CPU : インテル Core 2 Duo プロセッサ T9400 2.53GHz
- ・メモリ : 4GB
- ・NIC : オンボード 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- ・HDD : 73.4GB
- ・外部記憶 : DVDドライブ、外付けUSB FDドライブ

デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・LAN : Intel Corporation 82567LM-4 Gigabit Network Connection (rev 02) 【e1000e】
- ・VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 02)
- ・RAID : LSI Logic / Symbios Logic SAS1064ET PCI-Express Fusion-MPT SAS (rev 08) 【mptsas】

ディストリビューション

- ・CentOS 5.2 (x86)
2.6.18-92.el5PAE

インストール及び動作確認結果

PRIMERGY TX120 S2 CentOS 5.2 (x86) 2.6.18-92.el5PAE

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	別途必要 ※1
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK
7	マウスが使用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	OK
10	CD/DVD-ROM ドライブが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK

18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerViewRAID] のインストール	—
22	ディスクアレイ管理ツール[GAM (Global Array Manager)] のインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView] のインストール	OK ※2
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 インテルのサイトよりダウンロードした Linux 用「インテル 82567 ギガビット・イーサネット・コントローラー」ドライバを使用

※2 ServerView Agent のみインストール。動作確認は ServerView Console をインストールした Windows PC より行った

■インストール手順

1. 「 boot: 」プロンプトが出たところで、Enter を押します。
2. 以降は通常のインストールを実行します。

PRIMERGY TX120 S2 Non-RAID CentOS 5.2(x86_64) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における 動作結果であり、お客様の ご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことにより お客様に損害が生じた 場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。 そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

ハード環境

PRIMERGY TX120 S2

- ・CPU : インテル Core 2 Duo プロセッサ T9400 2.53GHz
- ・メモリ : 4GB
- ・NIC : オンボード 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- ・HDD : 73.4GB
- ・外部記憶 : DVD ドライブ、 外付け USB FD ドライブ

デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・LAN : Intel Corporation 82567LM-4 Gigabit Network Connection (rev 02) 【e1000e】
- ・VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 02)
- ・RAID : LSI Logic / Symbios Logic SAS1064ET PCI-Express Fusion-MPT SAS (rev 08) 【mptsas】

ディストリビューション

- ・CentOS 5.2 (x86_64)
2.6.18-92.el5

インストール及び動作確認結果

PRIMERGY TX120 S2 CentOS 5.2 (x86_64) 2.6.18-92.el5

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	別途必要 ※1
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK
7	マウスが使用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	OK
10	CD/DVD-ROM ドライブが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK

18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerViewRAID] のインストール	—
22	ディスクアレイ管理ツール[GAM (Global Array Manager)] のインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView] のインストール	OK ※2
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 インテルのサイトよりダウンロードした Linux 用「インテル 82567 ギガビット・イーサネット・コントローラー」ドライバを使用

※2 ServerView Agent のみインストール。動作確認は ServerView Console をインストールした Windows PC より行った

■インストール手順

1. 「boot:」プロンプトが出たところで、Enter を押します。
2. 以降は通常のインストールを実行します。

PRIMERGY TX120 S2 Non-RAID CentOS 4.7(x86) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における 動作結果であり、お客様の ご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことにより お客様に損害が生じた 場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。 そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

ハード環境

PRIMERGY TX120 S2

- ・CPU : インテル Core 2 Duo プロセッサ T9400 2.53GHz
- ・メモリ : 4GB
- ・NIC : オンボード 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- ・HDD : 73.4GB
- ・外部記憶 : DVDドライブ、外付けUSB FDドライブ

デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・LAN : Intel Corporation 82567LM-4 Gigabit Network Connection (rev 02) 【e1000e】
- ・VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 02)
- ・RAID : LSI Logic / Symbios Logic SAS1064ET PCI-Express Fusion-MPT SAS (rev 08) 【mptsas】

ディストリビューション

- ・CentOS 4.7 (x86)
2.6.9-78.ELsmp

インストール及び動作確認結果

PRIMERGY TX120 S2 CentOS 4.7 (x86) 2.6.9-78.ELsmp

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	別途必要 ※1
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK
7	マウスが使用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	OK
10	CD/DVD-ROM ドライブが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK

18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerViewRAID] のインストール	—
22	ディスクアレイ管理ツール[GAM (Global Array Manager)] のインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView] のインストール	OK ※2
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 インテルのサイトよりダウンロードした Linux 用「インテル 82567 ギガビット・イーサネット・コントローラー」ドライバを使用

※2 ServerView Agent のみインストール。動作確認は ServerView Console をインストールした Windows PC より行った

■インストール手順

1. 「 boot: 」プロンプトが出たところで、Enter を押します。
2. 以降は通常のインストールを実行します。

PRIMERGY TX120 S2 Non-RAID CentOS 4.7(x86_64) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における 動作結果であり、お客様の ご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことにより お客様に損害が生じた 場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。 そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

ハード環境

PRIMERGY TX120 S2

- ・CPU : インテル Core 2 Duo プロセッサ T9400 2.53GHz
- ・メモリ : 4GB
- ・NIC : オンボード 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- ・HDD : 73.4GB
- ・外部記憶 : DVDドライブ、外付けUSB FDドライブ

デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・LAN : Intel Corporation 82567LM-4 Gigabit Network Connection (rev 02) 【e1000e】
- ・VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 02)
- ・RAID : LSI Logic / Symbios Logic SAS1064ET PCI-Express Fusion-MPT SAS (rev 08) 【mptsas】

ディストリビューション

- ・CentOS 4.7 (x86_64)
2.6.9-78.ELsmp

インストール及び動作確認結果

PRIMERGY TX120 S2 CentOS 4.7 (x86_64) 2.6.9-78.ELsmp

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	別途必要 ※1
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK
7	マウスが使用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	OK
10	CD/DVD-ROM ドライブが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK

18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerViewRAID] のインストール	—
22	ディスクアレイ管理ツール[GAM (Global Array Manager)] のインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView] のインストール	OK ※2
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 インテルのサイトよりダウンロードした Linux 用「インテル 82567 ギガビット・イーサネット・コントローラー」ドライバを使用

※2 ServerView Agent のみインストール。動作確認は ServerView Console をインストールした Windows PC より行った

■インストール手順

1. 「 boot: 」プロンプトが出たところで、Enter を押します。
2. 以降は通常のインストールを実行します。

PRIMERGY TX120 S2 Non-RAID Fedora 10(x86) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における 動作結果であり、お客様の ご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことにより お客様に損害が生じた 場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

ハード環境

PRIMERGY TX120 S2

- ・CPU : インテル Core 2 Duo プロセッサー T9400 2.53GHz
- ・メモリ : 4GB
- ・NIC : オンボード 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- ・HDD : 73.4GB
- ・外部記憶 : DVD ドライブ、 外付け USB FD ドライブ

デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・LAN : Intel Corporation 82567LM-4 Gigabit Network Connection (rev 02) 【e1000e】
- ・VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 02)
- ・RAID : LSI Logic / Symbios Logic SAS1064ET PCI-Express Fusion-MPT SAS (rev 08) 【mptsas】

ディストリビューション

- ・Fedora 10 (x86)
2.6.27.5-117.fc10.i686.PAE

インストール及び動作確認結果

PRIMERGY TX120 S2 Fedora 10(x86) 2.6.27.5-117.fc10.i686.PAE

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が利用できるか	OK
6	キーボードが利用できるか	OK
7	マウスが利用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	NG ※1
9	フロッピードライブが利用できるか	OK
10	CD/DVD-ROM ドライブが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK ※2
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK ※3
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK

18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerViewRAID] のインストール	—
22	ディスクアレイ管理ツール[GAM (Global Array Manager)] のインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView] のインストール	—
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 デフォルト設定では root ユーザでの GUI ログインは不可(CUI ログインは可能)

※2 デフォルト設定では network サービスが自動起動していないためネットワークが停止している。network サービスの起動設定を行い、類似機能の NetworkManager サービスを停止した

※3 GUI ツールの不具合でネットマスクの値が反映されない。tui ツールを使用するか、設定ファイルを直接編集する

■インストール手順

1. 「 boot: 」プロンプトが出たところで、Enter を押します。
2. 以降は通常のインストールを実行します。

PRIMERGY TX120 S2 Non-RAID Fedora 10(x86_64) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における 動作結果であり、お客様の ご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことにより お客様に損害が生じた 場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。 そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

ハード環境

PRIMERGY TX120 S2

- ・CPU : インテル Core 2 Duo プロセッサ T9400 2.53GHz
- ・メモリ : 4GB
- ・NIC : オンボード 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- ・HDD : 73.4GB
- ・外部記憶 : DVD ドライブ、 外付け USB FD ドライブ

デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・LAN : Intel Corporation 82567LM-4 Gigabit Network Connection (rev 02) 【e1000e】
- ・VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 02)
- ・RAID : LSI Logic / Symbios Logic SAS1064ET PCI-Express Fusion-MPT SAS (rev 08) 【mptsas】

ディストリビューション

- ・Fedora 10 (x86_64)

2.6.27.5-117.fc10.x86_64

インストール及び動作確認結果

PRIMERGY TX120 S2 Fedora 10(x86_64) 2.6.27.5-117.fc10.x86_64

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK
7	マウスが使用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	NG ※1
9	フロッピードライブが利用できるか	OK
10	CD/DVD-ROM ドライブが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK ※2
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK

16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK ※3
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK
18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerViewRAID] のインストール	—
22	ディスクアレイ管理ツール[GAM (Global Array Manager)] のインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView] のインストール	—
24	片側のHDDを抜いてもOSが動作しているか ※停止状態でHDDを抜き、起動する	—
25	片側のHDDが抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側のHDDが抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側のHDDが抜けている状態で、再起動を行いOSが起動するか	—
28	片側のHDDを戻し、RAIDの再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAIDの再構築終了後、再起動を行いOSが正常起動するか	—
30	RAIDの再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 デフォルト設定では root ユーザでの GUI ログインは不可(CUI ログインは可能)

※2 デフォルト設定では network サービスが自動起動していないためネットワークが停止している。network サービスの起動設定を行い、類似機能の NetworkManager サービスを停止した

※3 GUI ツールの不具合でネットマスクの値が反映されない。tui ツールを使用するか、設定ファイルを直接編集する

■インストール手順

1. 「 boot: 」プロンプトが出たところで、Enter を押します。
2. 以降は通常のインストールを実行します。

PRIMERGY TX120 S2 Non-RAID Ubuntu 8.04.2 LTS Server(x86) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における 動作結果であり、お客様の ご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことにより お客様に損害が生じた 場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。 そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

ハード環境

PRIMERGY TX120 S2

- ・CPU : デュアルコア インテル Core 2 Duo プロセッサー T9400 2.53GHz
- ・メモリ : 4GB
- ・NIC : 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- ・HDD : 73.4GB × 1
- ・外部記憶 : DVD ドライブ、 外付け USB-FD ドライブ

デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・LAN : Intel Corporation 82567LM-4 Gigabit Network Connection (rev 02) 【e1000e】
- ・VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 02)
- ・SAS : LSI Logic / Symbios Logic SAS1064ET PCI-Express Fusion-MPT SAS (rev 08) 【mptsas】

ディストリビューション

- ・Ubuntu 8.04.2 LTS Server (x86)
2.6.24-16-server

インストール及び動作確認結果

PRIMERGY TX120 S2 Ubuntu 8.04.2 LTS Server (x86) 2.6.24-16-server

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	別途必要 ※1
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK
7	マウスが使用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK ※2
9	フロッピードライブが利用できるか	OK
10	CD/DVD-ROM ドライブが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK

17	web サービス (httpd) が利用できるか	OK
18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送 (nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール [ServerViewRAID] のインストール	—
22	ディスクアレイ管理ツール [GAM (Global Array Manager)] のインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア [ServerView] のインストール	NG
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成 (rebuild) が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 インテルのサイトよりダウンロードした Linux 用「インテル 82567 ギガビット・イーサネット・コントローラー」ドライバを使用（確認バージョンは 0.5.18.3）

※2 デフォルト状態では root でのログインはできない（root のパスワードを設定すれば可能）

■インストール手順

1. CD ブート後、Language から「日本語」を選択し Enter を押します。
2. 「Install Ubuntu Server」を選択し Enter を押します。
3. 以降は通常のインストールを実行します。

PRIMERGY TX120 S2 Non-RAID Ubuntu 8.04 LTS Server (x86) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における 動作結果であり、お客様の ご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことにより お客様に損害が生じた 場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。 そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

ハード環境

PRIMERGY TX120 S2

- ・CPU : デュアルコア インテル Core 2 Duo プロセッサー T9400 2.53GHz
- ・メモリ : 4GB
- ・NIC : 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- ・HDD : 73.4GB × 1
- ・外部記憶 : DVD ドライブ、 外付け USB-FD ドライブ

デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・LAN : Intel Corporation 82567LM-4 Gigabit Network Connection (rev 02) 【e1000e】
- ・VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 02)
- ・SAS : LSI Logic / Symbios Logic SAS1064ET PCI-Express Fusion-MPT SAS (rev 08) 【mptsas】

ディストリビューション

- ・Ubuntu 8.04 LTS Server (x86)
2.6.24-16-server

インストール及び動作確認結果

PRIMERGY TX120 S2 Ubuntu 8.04.2 LTS Server (x86) 2.6.24-16-server

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	別途必要 ※1
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK
7	マウスが使用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK ※2
9	フロッピードライブが利用できるか	OK
10	CD/DVD-ROM ドライブが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK

18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerViewRAID] のインストール	—
22	ディスクアレイ管理ツール[GAM (Global Array Manager)] のインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView] のインストール	NG
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 インテルのサイトよりダウンロードした Linux 用「インテル 82567 ギガビット・イーサネット・コントローラー」ドライバを使用（確認バージョンは 0.5.18.3）

※2 デフォルト状態では root でのログインはできない（root のパスワードを設定すれば可能）

■インストール手順

1. CD ブート後、Language から「日本語」を選択し Enter を押します。
2. 「Install Ubuntu Server」を選択し Enter を押します。
3. 以降は通常のインストールを実行します。

PRIMERGY TX120 S2 Non-RAID Debian GNU/Linux 5.0.1(x86) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における 動作結果であり、お客様の ご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことにより お客様に損害が生じた 場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。 そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

ハード環境

PRIMERGY TX120 S2

- ・CPU : デュアルコア インテル Core 2 Duo プロセッサー T9400 2.53GHz
- ・メモリ : 4GB
- ・NIC : 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- ・HDD : 73.4GB × 1
- ・外部記憶 : DVD ドライブ、 外付け USB-FD ドライブ

デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・LAN : Intel Corporation 82567LM-4 Gigabit Network Connection (rev 02) 【e1000e】
- ・VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 02)
- ・SAS : LSI Logic / Symbios Logic SAS1064ET PCI-Express Fusion-MPT SAS (rev 08) 【mptsas】

ディストリビューション

- ・Debian GNU/Linux 5.0.1 (x86)
2.6.26-2-686-bigmem

インストール及び動作確認結果

PRIMERGY TX120 S2 Debian GNU/Linux 5.0.1 (x86) 2.6.26-2-686-bigmem

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	別途必要 ※1
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK ※2
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK
7	マウスが使用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	OK
10	CD/DVD-ROM ドライブが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK

18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerViewRAID] のインストール	—
22	ディスクアレイ管理ツール[GAM (Global Array Manager)] のインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView] のインストール	NG
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 インテルのサイトよりダウンロードした Linux 用「インテル 82567 ギガビット・イーサネット・コントローラー」ドライバを使用（確認バージョンは 0.5.18.3）

※2 4GB 以上のメモリを認識させるために bigmem カーネルのインストールが必要

■インストール手順

1. 「 Installer boot menu 」が表示されたら 「 Graphical install 」を選択してEnter を押します。
2. 以降は通常のインストールを実行します。

PRIMERGY TX120 S2 Non-RAID Debian GNU/Linux 5.0.1(x86_64) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における 動作結果であり、お客様の ご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことにより お客様に損害が生じた 場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。 そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

ハード環境

PRIMERGY TX120 S2

- CPU : デュアルコア インテル Core 2 Duo プロセッサー T9400 2.53GHz
- メモリ : 4GB
- NIC : 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- HDD : 73.4GB × 1
- 外部記憶 : DVD ドライブ、 外付け USB-FD ドライブ

デバイスドライバ【ドライバ名】

- LAN : Intel Corporation 82567LM-4 Gigabit Network Connection (rev 02) 【e1000e】
- VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 02)
- SAS : LSI Logic / Symbios Logic SAS1064ET PCI-Express Fusion-MPT SAS (rev 08) 【mptsas】

ディストリビューション

- Debian GNU/Linux 5.0.1 (x86_64)
2.6.26-2-amd64

インストール及び動作確認結果

PRIMERGY TX120 S2 Debian GNU/Linux 5.0.1 (x86_64) 2.6.26-2-amd64

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	別途必要 ※1
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が利用できるか	OK
6	キーボードが利用できるか	OK
7	マウスが利用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	OK
10	CD/DVD-ROM ドライブが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK

18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerViewRAID] のインストール	—
22	ディスクアレイ管理ツール[GAM (Global Array Manager)] のインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView] のインストール	NG
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 インテルのサイトよりダウンロードした Linux 用「インテル 82567 ギガビット・イーサネット・コントローラー」ドライバを使用（確認バージョンは 0.5.18.3）

■インストール手順

1. 「 Installer boot menu 」が表示されたら 「 Graphical install 」を選択してEnter を押します。
2. 以降は通常のインストールを実行します。